



寺内 安規 議員

相互連携の対策を

問 図書館は来館者も多く、社会教育並びに生涯教育に寄与している。しかし、博物館の果たす役割が置き去りにされているような感じがする。相互連携に對する考えを伺う。

答 今後、図書館内に博物館資料の出張展示と図書館所蔵の関連資料を展示するなど、施設間の相互連携を図りたい。

問 箱物行政として、記念碑的につくられ使い勝手が悪い施設が多いと聞きますが、本市博物館も展示会がしにくく、障がい者や高齢者に利便性の悪い施設と見ている。住民の思いや魂がこもっていないお上の意向



南相馬市立博物館

でつくった箱物化してないか伺う。

答 駐車場が少し離れているが、障がい者や高齢者の方には、施設周辺に専用駐車場を準備しており、館内はバリアフリーとなっており安心して観覧いただけるよう努めている。

問 岩妻・茂出線は鹿島区の幹線道路である。当地区の都市計画道路は途切れているが、過去に住民説明した経過

があるが今後この計画の着工見通しを伺う。

答 合併前から早期整備の要望が出されているが、全線完成するには多額の費用が必要となることから、投資効果を検証した中で関係機関や、関係地権者との協議を行い対応して参りたい。

ちょっとホンネ

住めば都と言いますが情報の共有化、どこへ住んでもデジタル放送の恩恵を受けるべし。

その他の質問

- 1 デジタル放送難視地区の対応について
- 2 鹿島歴史民俗資料館の運営について
- 3 敬老会の運営と名簿作成について



横山 元榮 議員

活力と元気のあるまちづくりを

問 大学と連携し地元農産物のブランドづくりについて伺う。

答 地域の活性化と清算所得の向上を図る上で地域の特性を生かした重要な施策であると考えている。今後、農家・食品加工業・観光業・教育関係者など多くの市民を交えながら、ブランドづくりのモデル事業を研究している大学の教授を招き講演会などを計画している。また販路拡大に繋がる具体的なブランド化の基本方針策定に向けて取り組んでいる。

問 現在、農林水産振興プランに基づき取り組んできている。新たな



安全安心な生産工程管理手法による大豆の作付け（原町区泉）

なブランド化する具体的な方向性を伺う。

答 地元にあるものを見直し、今までと全く違った形で具体的に提案させていただく。

問 米の戸別所得補償制度の導入により、新たな農政が展開される。こうした中での方向性について伺う。

答 公約した部分について、しっかりと方向性を持ち農産物のブランド化に向けて取り組

んでいく。

問 資源を最大限に活用し、高速道路開通後の交流人口拡大、方策について伺う。

答 観光交流課等の職員に、いろいろな視察も含めて検討させており、具体的に、さまざまな部分の交流が拡大されるものと期待している。

ちょっとホンネ

暮らしブランド・特産・食ブランド・観光ブランド、全国から選ばれるまちになりたい。

その他の質問

- 1 雇用対策と企業誘致について
- 2 工業基盤基本計画策定事業の今後の対応
- 3 職員のメンタルヘルスについて

庁内禁煙と

残業ゼロを



小川 尚一 議員

問 職務中の禁煙のありかたで、職務開始直後や終了直前の喫煙が目につく。庁内禁煙の廃止の考えと取り組みを伺う。

答 私も、喫煙はしません。職員の喫煙は、業務に支障を来たさない範囲で行うのが基本だと考える。しかし、議員お質しのように、市民から誤解や不信感を招くような喫煙方法については、是正する必要がある。今後は喫煙者の健康面や、受動喫煙防止からも喫煙時間の設定をするなど、段階的な庁内禁煙に向けて進めたい。尚、二階の喫煙室は、廃止した。

問 残業ゼロについて、健



廃止された喫煙室

全財政のため人件費削減や、照明・空調など、コストと環境の視点からも改善されているか。また、残業ゼロを目指す考えについて伺う。

答 超過勤務の縮減については、職員の心身の健康保持や仕事と生活調和、公務効率の向上、加えて健全財政の人件費総額抑制を図る上でも重要である。このことから、ノー残業デーの実効性ある実施を通して、職員に意識改革を図るなど超過勤務の縮減に努める。照明などのコスト削減や

環境付加の視点からの超過勤務の縮減に積極的に取り組む。

問 意欲はわかるが、残業ゼロに向かって計画的に進むという認識か伺う。

答 残業ゼロに向け計画的に取り組む思いである。

ちょっとホンネ
小惑星探査機「はやぶさ」は、諦めずみんなの英知を結集すれば、不可能はないと示唆。

その他の質問

- 1 住宅リフォーム支援補助制度の創設を
- 2 陸上競技場改修工事に地元業者JVを
- 3 通年型観光施設として「花と緑の公苑」を



高野 光二 議員

問 60事業を対象とした事業仕分けは、投資的経費や政策的な判断を必要とする立場で、市民の目線でチェックをしていただくと、事業仕分けを行った。市長のマニフェストの事業展開も含め、今後どのように事業仕分けをし、市政に生かしていく考えか伺う。

答 市民目線による議論を通じて行政のムリ・ムラ・ムダを排除することを目的で実施し、その結果を踏まえ、マニフェストに掲げた生活優先、市民が主役の南相馬市の実現に向け今後4年間を見極めながら、順次実行していく。

問 6月定例会に当たり、今後の財政想定を



事業仕分け（第1会場）

めた政策の提案がされなかったことは何故か伺う。

答 市債残高100億円削減と経常収支比率85%の確保については行政の果たすべき役割を含め、検討に予想以上の期間を要するためである。

問 財政計画のあり方については60億を超える市債を少しでも減らす考え方は間違いではないが、市債を減らす

事業仕分けと 本市の財政計画は

努力の中で市のさまざまな事業の絞り込みによる景気の冷え込みなどあってはならない。経済と福祉・教育費等のバランスを取りながら進めるべきと思うが如何か。

答 財政の健全化に質することと実効性の高い計画にしたい。

ちょっとホンネ
政治への信頼が失いつつある。政治は私どもの生活と直結し、政治は最高の道徳であるべし。

その他の質問

- 1 大甕産廃処分場とごみ処理行政の考えは
- 2 市立病院の役割と機能分担の考え方は
- 3 本市における高齢者福祉施策について

一般質問